
日本放送協会 理事会議事録

(平成29年12月 4日開催分)

平成29年12月22日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成29年12月 4日(月) 午後5時30分～6時00分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、木田専務理事、坂本専務理事、
児野専務理事・技師長、根本理事、松原理事、荒木理事、黄木理事、
大橋理事、菅理事、中田理事、今井特別主幹
高橋監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

- (1) 第1296回経営委員会付議事項について
- (2) 働き方改革 今後の取り組み

2 報告事項

- (1) 考査報告
- (2) 放送番組審議会議事録(資料)

議事経過

1 審議事項

(1) 第1296回経営委員会付議事項について

(経営企画局)

12月12日に開催される第1296回経営委員会に付議する事項について、審議をお願いします。

付議事項は、審議事項として「NHK3か年計画（2018－2020年度）案」、「平成30年度予算編成方針」、「平成30年度国内放送番組編集の基本計画について」、および「平成30年度国際放送番組編集の基本計画について」です。また、報告事項として、「『平成28年度業務報告書』に付する総務大臣の意見について」、その他事項として「平成29年秋季交渉の結果について」です。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

(2) 働き方改革 今後の取り組み

(人事局)

「働き方改革 今後の取り組み」について審議をお願いします。

「働き方改革」をNHKグループ一丸となって前進させるため、「NHKグループ 働き方改革宣言」を取りまとめました。

内容は、次のとおりです。

「NHKグループは、業務に携わるすべての人の健康を最優先に考えます。これまでの慣行を打破して、働き方を抜本的に見直します。

1. 長時間労働に頼らない組織風土をつくります
2. 業務の改革やスクラップを進め、効率的な働き方を追求します
3. ワーク・ライフ・バランスの充実により人間力を高めます
4. 多様な人材がいきいきと活躍できる職場を実現します
5. 改革の取り組みを点検・検証し、常に改善を続けます」

なお、本件が決定されれば、平成29年12月7日の会長会見で公表する予定です。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

2 報告事項

(1) 考査報告

(考査室)

平成29年10月23日から11月22日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース19項目、番組43本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目としては、アジア歴訪の最初の訪問国として就任後初めて日本を訪れた米国のトランプ大統領が安倍首相と首脳会談を行い、北朝鮮に対し最大限の圧力をかけることで意見が一致したこと、APECやASEANの会議で、北朝鮮への圧力強化を訴える米国や日本、対照的に“ほほ笑み外交”で影響力拡大を目指す中国などが首脳外交を展開する中、日中関係については改善の機運が見られたこと、神奈川県座間市のアパートで見つかった9人全員の遺体の身元が判明し、遺族などから悲しみや怒りの声上がる中、SNSを通じた犯罪抑止の議論も始まったこと、5年に1度の中国共産党大会で、習近平国家主席に権力が一層集中する体制に移行したことなどがありました。

番組では、各国の指導者、富裕層のタックスヘイブン（租税回避地）での資産隠しや税逃れなどの実態にICIJ・国際調査ジャーナリスト連合とともに迫った、NHKスペシャル「追跡 パラダイスペーパー 疑惑の資産隠しを暴け」（11月12日放送）、円盤投げとアーチェリーの用具開発にスポーツ工学研究者や職人が挑んだ、「超絶凄ワザ！『東京オリンピック全力応援 究極の競技用具を作れ！』」（総合・10月30日放送）、人々の悩みや思いに寄り添い、歌を紡ぐ半崎美子さんの日々を追った、「目撃！につぼん『ショッピングモールの歌姫～涙する歌が生まれるとき』」（総合・11月12日放送）、WHO認定の精神疾患にもかかわらず、日本には対策を行うための法律などがない実態を浮き彫りにした、ハートネットTV シリーズ依存症（全3回）第1回「ギャンブル依存症 孤立する当事者と家族」（Eテレ・10月31日放送）などの番組を考査しました。

また、国際放送では、ニュース4項目と番組2本の考査を実施しまし

た。考査したのは、習主席が中国共産党の総書記に再選され、習氏の権威が過去の強い指導者と並び称されるまでに高まっていく過程を伝えた「NEWSLINE」（日本時間10月18日、24・25日放送ほか）、大がかりな舞台美術や数々の仕掛け装置、素早い舞台転換など、大道具製作者の仕事を通して歌舞伎の魅力に迫った「KABUKI KOOL Kabuki Stage Sets」（日本時間11月1日放送）などです。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

（2）放送番組審議会議事録（資料）

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、全国の地方放送番組審議会（関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、北海道、四国）の平成29年10月開催分の議事録についての報告。

注：放送番組審議会の内容は、NHKのホームページ「NHKオンライン」の「経営情報」のなかに掲載しています。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成29年12月19日

会 長 上 田 良 一